

〔別 紙〕
様式 1

事 業 報 告 書
(自 令和2年6月1日 至 令和3年5月31日)

1 医療法人の概要

- (1) 名 称 医療法人 小西循環器科・内科医院
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人
☐ 出資額限度法人 ☒ その他
- ③ ☒ 基金制度採用 ☐ 基金制度不採用
- 注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)
- (2) 事務所の所在地 山口県下関市伊倉町二丁目1番10号
- 注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。
- (3) 設立認可年月日 令和 1年10月29日
- (4) 設立登記年月日 令和 1年11月12日

2 事業の概要

- (1) 本来業務 (開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院 (医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
診療所	医療法人 小西循環器科・内科医院	下関市伊倉町二丁目1番10号	0

- 注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。
3. 介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

- (2) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和 2年 7月13日 令和1年度決算の決定
令和 3年 5月31日 令和3年度の事業計画及び収支予算の決定

様式 2

法人名 医療法人 小西循環器科・内科医院

※医療法人整理番号

所在地 下関市伊倉町二丁目1番10号

財 産 目 録
(令和3年5月31日現在)

1. 資 産 額	26,497 千円
2. 負 債 額	6,313 千円
3. 純 資 産 額	20,184 千円

(内 訳)	(単位：千円)
区 分	金 額
A 流 動 資 産	19,653
B 固 定 資 産	6,844
C 資 産 合 計 (A + B)	26,497
D 負 債 合 計	6,313
E 純 資 産 (C - D)	20,184

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

建 物 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式 3 - 2

法人名 医療法人 小西循環器科・内科医院

※医療法人整理番号

所在地 下関市伊倉町二丁目1番10号

貸借対照表
(令和3年5月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	19,653	I 流 動 負 債	6,313
II 固 定 資 産	6,844	II 固 定 負 債	
1 有 形 固 定 資 産	5,750		
2 無 形 固 定 資 産	546	負 債 合 計	6,313
3 そ の 他 の 資 産	548	純 資 産 の 部	
		科 目	金 額
		I 基 金	7,000
		II 積 立 金	13,184
		III 評 価 ・ 換 算 差 額 等	
		純 資 産 合 計	20,184
資 産 合 計	26,497	負債・純資産合計	26,497

(注) 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

様式 4－2

法人名医療法人 小西循環器科・内科医院

※医療法人整理番号

所在地下関市伊倉町二丁目1番10号

損 益 計 算 書
(自 令和 2年 6月 1日 至 令和 3年 5月 31日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	76,311 ✓
2 事業費用	64,927 ✓
本来業務事業利益	11,384 ✓
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	
2 事業費用	
附帯業務事業利益	
事業利益	11,384 ✓
II 事業外収益	1,975 ✓
III 事業外費用	
経常利益	13,359 ✓
IV 特別利益	49 ✓
V 特別損失	56 ✓
税引前当期純利益	13,352 ✓
法人税等	3,023 ✓
当期純利益	10,329 ✓

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。